

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和2年8月26日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 案件なし

2 審議事項

- ・ 案件なし

3 報告事項

(1) 令和2年7月中の警察安全相談受理状況について

県警察から、令和2年7月中の警察安全相談受理状況に関する報告があった。

7月中の警察安全相談受理件数は1,740件と、前月より179件(9.3%)減少した。

相談内容は警察活動全般にわたっており、生活安全部門に関する相談が1,236件と最も多く、特殊詐欺に関する相談件数は109件と前月より65件増加、コロナウイルスに関する相談は23件と前月より1件減少した。

7月中に相談を端緒に事件化した事案は2件とのことであった。

委員から、『相談受理にあたっては、真摯に適切に対応していただきたい。』との発言があった。

(2) 令和2年上半期の街頭防犯カメラの活用状況について

県警察から、令和2年上半期の街頭防犯カメラの活用状況に関する報告があった。

街頭防犯カメラの画像データを116件検索し、そのうち48件を警察署長にデータ提供し、犯行状況の確認や裏付け捜査等に活用したとのことであった。

委員から、『犯罪の未然防止や犯罪発生時の捜査に有効であり、効果的に活用していただきたい。』との発言があった。

(3) 令和2年上半期の非行少年等の概況について（暫定値）

県警察から、令和2年上半期の非行少年等の概況に関する報告があった。

非行少年は40人と、前年同期に比べ1人(2.4%)減少した。

また、福祉犯の検挙人員は22人と、前年同期に比べ2人(10.0%)増加、被害人員は18人と、前年同期に比べ5人(21.7%)減少している。

下半期に向けて、福祉犯の取締り等を強化するとともに、街頭補導活動、広報啓発活動等の非行防止対策に積極的に取り組むとのことであった。

委員から、『コロナの影響で、少年の行動も変わってきていると思われることから、しっかりと対応していただきたい。』との発言があった。

(4) 貸金業法違反被疑者（指定暴力団六代目山口組系幹部組員）の逮捕について

県警察から、貸金業法違反被疑者（指定暴力団六代目山口組系幹部組員）の逮捕に関する報告があった。

令和2年8月19日に仙北警察署において、秋田県知事の登録を受けないで貸金業を営んだ事実で仙北市居住の指定暴力団六代目山口組系幹部組員(55歳)を通常逮捕したとのことであった。

委員から、『余罪の有無も含め、しっかり捜査していただきたい。』との発言があった。

(5) 令和2年夏の交通安全運動の実施結果について

県警察から、令和2年夏の交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

8月1日から8月10日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした令和2年夏の交通安全運動が実施され、各警察署等において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数28件、死者数0人、負傷者数32人で、前年同期に比べ、発生件数は21件、死者数は1人、負傷者数は25人減少したとのことであった。

委員から、『各署で特徴のある取組みの成果が現れている。』『これからは正念場であり、しっかり対策を進めてもらいたい。』との発言があった。

(6) 出入国管理及び難民認定法違反（旅券提示拒否・不法残留）被疑者の逮捕について

県警察から、出入国管理及び難民認定法違反（旅券提示拒否・不法残留）被疑者の逮捕に関する報告があった。

秋田中央警察署及び警備第一課は、令和2年8月19日、秋田市大町のホテルからの不審者通報を受け、同ホテルに滞在していた不審者である中国国籍の女性（41歳）に対して職務質問、再三に渡り旅券の提示を求めると、旅券の提示を拒否したため同日午前3時34分、旅券提示拒否で現行犯逮捕、同人の身分を確認したところ、平成31年4月に本国に短期滞在（15日）の在留資格で入国して以降、出国することなく不法に本国に残留していたことが判明したことから、逮捕状の発付を得て、同人を通常逮捕（再逮捕）したとのことであった。

委員から、『しっかり捜査願いたい。』との発言があった。

(7) 令和2年度秋田県総合防災訓練への参加について

県警察から、令和2年度秋田県総合防災訓練への参加に関する報告があった。

令和2年8月30日（日）、由利本荘市において、令和2年度秋田県総合防災訓練が実施され、県警察も参加するとのことであった。

委員から、『コロナ対策をしっかり行った上で、充実した訓練としてもらいたい。』との発言があった。